

# イタリア・オペラの 花束を ～林 康子を迎えて

指揮: 大川修司

(びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者)

ピアノ: 越知晴子

## Program

チマローザ: 歌劇『秘密の結婚』より 第2幕フィナーレ  
モーツァルト: 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』より 第1幕フィナーレ  
歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』より 第1幕フィナーレ  
ドニゼッティ: 歌劇『愛の妙薬』より 第1幕フィナーレ  
ヴェルディ: 歌劇『イル・トロヴァトーレ』より  
マンリーコ、レオノーラ、ルーナ伯爵の三重唱

構成・お話  
林 康子



出演: びわ湖ホール声楽アンサンブル

2026年 3月21日(土) 14:00開演  
(13:30開場)

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

■チケット料金【全席指定・税込】 一般 3,300(2,750)円 青少年(24歳以下) 1,650円 ※( )内はびわ湖ホール友の会会員料金

■チケット発売日

一般発売: 11月22日(土) 10:00～

びわ湖ホール友の会優先発売: 11月20日(木) 10:00～  
(ネットチケットおよび電話受付のみ)

※6歳以上入場可。託児サービス(有料)があります。

■チケット取り扱い・お問い合わせ

びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136

(10:00～19:00/火曜日休館、休日の場合は翌日。12/29、30、1/1～3は休館。  
ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00～17:30営業。)

インターネット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

主催: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 後援: 滋賀県教育委員会

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



# イタリア・オペラの花束を～林 康子を迎えて

びわ湖ホール声楽アンサンブルがさまざまなジャンルの声楽曲をお贈りする定期公演。

今回は、1972年に日本人で初めてミラノ・スカラ座デビューし、世界中の歌劇場でプリマとして活躍したソプラノの林康子を監修に迎えます。

後進の指導にも邁進してきた林は、びわ湖ホールでは、2021年度から2025年度まで計4回、声楽アンサンブルのメンバーを対象に実施した「声楽曲研修」で講師を務めました。メンバーの個性を熟知している林が、その魅力を引き出し、成長につなげるのに適切な曲目として選んだのは、自身も何度も取り組んできた、チマローザ、モーツァルト、ドニゼッティ、ヴェルディの名オペラの重唱やアンサンブル。林のもとで磨き上げた表情豊かなアンサンブルをどうぞお楽しみください。

当日の案内役も、林自身が務めます。オペラ歌手として唯一無二の経験を持つ林のトークは必聴です。

## 林 康子 (構成・お話) Hayashi Yasuko

東京藝術大学大学院修了後の1969年秋、イタリア・ミラノに留学。翌年、スカラ座養成所に在学中に小スカラ座で『秘密の結婚』『偽の庭師』でデビュー。1972年にディ・ステファノの推薦で『蝶々夫人』に出演、日本人として初めてスカラ座デビュー。同年、世界が注目するイタリア国営放送(RAI)主催のロッシーニコンクールで優勝。これをきっかけに国際舞台での華々しい活躍が始まる。コヴェント・ガーデン王立歌劇場に5年連続出演(ハイティンク指揮『ドン・ジョヴァンニ』、カレーラスとの共演で『蝶々夫人』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』)。スカラ座では16年間、13の異なるレパートリーで80回出演(シャイー指揮『道楽者のなりゆき』『二人のフォスカリ』、ガヴァツツェニ指揮『十字軍のロンバルディア人』、ムーティ指揮『コジ・ファン・トゥッテ』、マゼール指揮『蝶々夫人』、バタネ指揮『アイダ』など)。バイエルン国立歌劇場で『蝶々夫人』、クライバー指揮『椿姫』、ウィーン国立歌劇場で『蝶々夫人』『ドン・ジョヴァンニ』、エレーデ指揮『椿姫』、ヴェローナ野外劇場で『アイダ』『トゥーランドット』『蝶々夫人』、シカゴのリリック・オペラで『マリア・ストゥアルダ』、シャイー指揮『蝶々夫人』、サンフランシスコのウォー・メモリアル・オペラハウスでチョン・ミョンファン指揮『蝶々夫人』等に出演。50のオペラ・レパートリの中では、『蝶々夫人』800回、『ドン・ジョヴァンニ』をはじめとするモーツァルト作品250回あまりへの出演を含む。ベルカント唱法をベースに幅広いレパートリーをこなし、68歳で『マクベス』マクベス夫人役デビューまで、息の長いキャリアを取めた。共演者はバヴァロッティ、アラガル、カレーラス、カブッチリ、カバリエ、ゲンチャー、コッソットなど。紫綬褒章・旭日小綬章受章、サントリー音楽賞その他受賞。東京藝術大学名誉教授。



## 大川 修司 (指揮) Okawa Shuji

国立音楽大学卒業。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、日生劇場、東京二期会、新国立劇場、兵庫県立芸術文化センター、愛知芸術文化センターなどでオペラの音楽スタッフ、合唱指揮を務める。びわ湖ホールではオペラ『泣いた赤おに』、オペラへの招待『ラインの黄金』『天国と地獄』、近江の春びわ湖クラシック音楽祭2018 野外オペラ『ディドとエネアス』や声楽アンサンブル定期公演、学校巡回公演のほか、様々な公演の指揮を務めている。2018年よりびわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者。2024年第49回滋賀県文化奨励賞受賞。



## 越知 晴子 (ピアノ) Ochi Haruko

京都市出身。京都市立芸術大学大学院修了。ロームミュージックファンデーションより助成を受け渡独。ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。同大学講師を経て帰国。第7回 Josef Suder 国際歌曲コンクールにて最優秀伴奏者賞受賞。Kissinger sommer 国際音楽祭、シャネルピグマリオンデイズ、仙台クラシックフェスティバル、ロームミュージックフェスティバル等数多くの演奏会に出演。現在新国立劇場、びわ湖ホール、関西二期会等でコレペティートルを務める。京都市立芸術大学、大阪音楽大学、神戸女学院大学非常勤講師。

## びわ湖ホール声楽アンサンブル BIWAKO HALL Vocal Ensemble

びわ湖ホール独自の創造活動の核として開館の年の1998年3月に設立。ソリストとしての高水準の実力だけでなく、アンサンブル、合唱の中核となり得るバランスのとれた声楽家により構成されている。びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とする一方、音楽の普及活動も積極的に行っており、日本初の公共ホール専属声楽家集団として各方面から注目を集めている。2013年第26回大津市文化賞、2017年第42回滋賀県文化賞受賞。



### ■チケット購入

びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136

(10:00~19:00/火曜日休館、休日の場合は翌日。12/29、30、1/1~3は休館。  
ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00~17:30営業。)

インターネット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

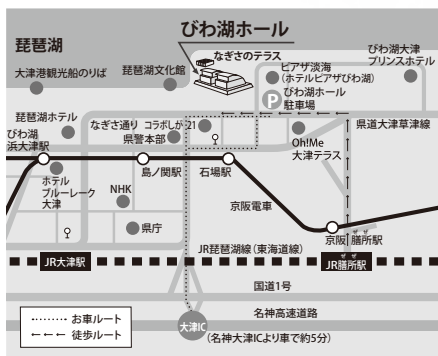
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 【Pコード 293-722】
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> 【Lコード 56889】
- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> 【座席選択サービス有】

※6歳以上入場可。びわ湖ホールでは託児サービス(有料)がございます。詳しくは下記をご覧ください。  
※びわ湖ホール友の会優先発売は、びわ湖ホールチケットセンターのネット・電話のみの受付です。※お申し込みいただいたチケットのキャンセル、変更はできません。※チケットお申し込み後、期限内に所定の手続きをされなかった場合は、チケットの販売・引渡しをお断りいたします。※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合があります。※びわ湖ホールではテレコイル機能のついた捕聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えるヒアリンググループを使用した音声をお楽しみいただけます。



SNSでも最新情報が確認できます。

びわ湖ホール 🔍 で検索!



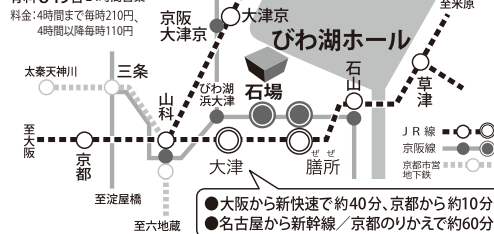
### 【びわ湖ホールへの交通のご案内】

- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、京阪電車(石山坂本線)のりかえ「石場」駅より徒歩約3分
- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分

《駐車場のご案内》

有料 849台 24時間営業

料金:4時間まで毎時210円、4時間以降毎時110円



### 託児サービスのご案内

- 対象: 1歳以上、5歳以下
- 料金: お子様一人につき、1,000円
- 開設時間: 13:30 ~ 公演終了後30分まで
- 申込方法: 2026年3月14日(土)までにびわ湖ホールチケットセンター Tel. 077-523-7136にお申込みください。

滋賀県立芸術劇場 **びわ湖ホール**

BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA  
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号 Tel.077-523-7133(代)  
<https://www.biwako-hall.or.jp/>